

■カリキュラムについて

ライトスタッフの短期目標は、難関私立中学の受験突破です。しかし、単なる知識の先取り学習ではありません。3年生から受験専門塾と併用されることを念頭に置いていますが、メインとなる塾とコースを選べば他に個別指導や家庭教師を併用しなくても志望校に合格できることを目指し、中学では全く塾通いをしなくても校内で成績上位をキープできるような知能を身につけていただきます。

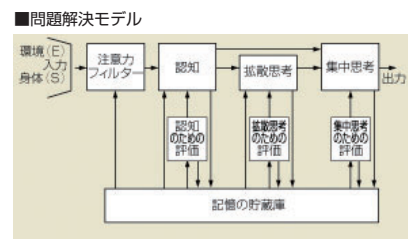


長期目標は、将来どんな分野に進んでも、求められた役割を適確にこなしながら今までにはなかった新しい価値を創造できるようになることであり、9歳までにその下地を身につけていただきます。

子供たちにとっては楽しい「あそび」感覚の授業ですが、長年の研究と経験に裏付けられた理論とノウハウがぎっしり詰まった濃密なカリキュラムです。

■ギルフォード理論について

アメリカの心理学者ギルフォード博士は、人間の知能を構成する要素を「知能構造モデル」、またそれぞれのつながりを「問題解決モデル」として提唱しました。そしてその発達の順序性もモデル化されました。日本の教育学者伏見猛弥教授は、人間の知能の構成要素とつながりが分かっているのであれば、そのそれぞれを幼少期から刺激することで知能の発達を促せるのではないかと考え、昭和40年に英才教育研究所を設立。翌41年からギルフォードの知能構造モデルに基づく幼児教育を始められました。



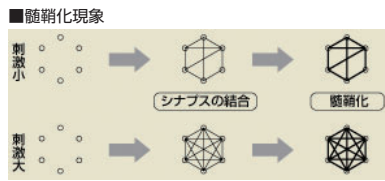
昭和48年生まれの子ライトスタッフ代表太田勝久は、4歳から9歳までこの知能開発を自ら経験し、平成9年からは指導者として携わっています。

Key Word 9歳の力ベ ～あたってからでは遅すぎる～

小学校3年生ぐらいから急に学校の勉強内容が理解できなくなる、と言われていきます。しかしこれは急に9歳からできなくなるのではなく、この頃から論理性や抽象思考を要求される課題が増えてくるため、その部分の回路ができていなかったことが露呈する現象なのです。

ずいしょうか 随鞘化現象 ～知能の構造は9歳までに決まります～

脳が刺激を受けると、受けた部分に配線が作られます。例えば、「図形の分類を記憶する」配線、「概念の関係を評価する」配線などです。これらは9～10歳頃には膜で覆われてしまい、その時点で完成している配線が固定化されます。だから、この時期までにできるだけバランスよくたくさんの配線を作っておく必要があるのです。



知能の転移 ～得意分野の能力を不得意分野へ～

お子様が苦手を克服する場合、苦手なものばかりを反復練習するとかえって逆効果になることがあります。しかし、苦手分野にすぐ隣接する知能の分野に得意なものがあれば、そちらをさらに伸ばすことによって知らない間に苦手分野も自動的に改善されて行くのです。

知能テスト ～日常生活改善のヒントに～

単なるIQの高低だけではなく、テストの傾向から普段の生活習慣やあそびの傾向もうかがえます。保護者の方が何気なくかけられている言葉が知能の発達に大きく影響しますので、テスト結果を踏まえての面談で教室とご家庭一緒になって環境を整えていく材料になります。

シドウくん
武士道精神を大切に
する男の子

義勇 仁礼

誠名 誉義 忠義 克己

ゲーム

「勝ちたい」「たくさん点数を取りたい」という気持ちから、工夫する姿勢が育ちます。

パソコン

試してみたい考えをすぐにシミュレーションできるので、試行錯誤を重ねながら考えを深めていくことができます。

囲碁・将棋

大局的なものの見方、先の見通しを立てた考え方が身につきます。どちらも、低年齢用の入門ゲームから徐々に本格的なルールへステップアップしていきます。

noblesse oblige

リージュちゃん
ノーブレス・オブリージュの精神を大切に
する女の子

ノーブレス・オブリージュ＝
社会的地位の高い人は
社会に尽くす義務がある、という言葉。

算数

パターンの反復練習に重きを置くのではなく、理詰めで考えるための思考力の養成に重きを置きます。同時に、計算力やスピードも身につけていただきます。2年生修了時に、中学受験専門塾の新3年生上位クラスに入会できる実力を育てます。

国語

長文を素材にした読解力・語彙力の養成、作文を応用した創造力・要約力の養成に重きを置きます。同時に、文字や漢字等を学年より先取りして習得することにより、よりレベルの高い読書ができるようになります。教室に図書コーナーがあり、本の貸し出しも行っています。2年生修了時に、中学受験専門塾の新3年生上位クラスに入会できる実力を育てます。

それぞれのもっと詳しい内容については、喜んでご説明させていただきます。ぜひ一度お気軽にお電話ください。

■ライトスタッフの歴史

昭和32年 塾「西神戸学院」開設。(太田実、現代表の父)
昭和52年 「幼児知能あそび西神戸教室」開設 (太田淳子、現代表の母、現代表は1期生)
昭和60年 それぞれ、「太田塾」「太田教室」と改称
平成9年 太田勝久 スタッフとして加入
平成14年 太田勝久 代表就任
平成15年 塾・教室を統合して「Light Staff」と改称
平成22年 神戸市西区から灘区へ移転 「ライトスタッフ」と改称

■代表よりごあいさつ

私が自ら灘校・東大を卒業して今痛感することは、受験を「目標＝ゴール」として目指して来た人と、もっと大きな目標への「手段＝ステップ」として利用してきた人とは、その後の人生の豊かさにかなり差があるということです。社会に出てからも既存のルールの中で少しでも自分が得をする道を探すのか、それともあるべき社会の姿を求めて新しくルールやシステムを生み出し、多くの人たちの幸せに貢献できるのか。そこに大きな違いがあります。

また、長らく塾講師・家庭教師として中学受験と向き合ってきた経験から、本格的な受験勉強を開始する前に適切な脳の回路が構築されているお子様は余裕を持って楽しんで受験に取り組めるが、必要な回路が未発達の場合にはテクニックを反復練習で覚えこむしか方法がないことも実感してまいりました。

私は、これからの日本を、そして地球を背負って立つ子供たちに対する思いを「ライトスタッフ」という教室名、シドウくん、リージュちゃんというキャラクターに託しました。そしてそのような人材になるためには、少々の困難にはへこたれない精神力や、周囲の人たちに応援していただける人徳も備えていなければならないと考えています。

楽しいけれど厳しい、厳しいけれど温かい。生徒の皆さん、保護者の皆様と一緒にそんな教室を作り上げてまいりたいと思います。

■プロフィール

昭和48年2月8日生まれ
灘中・灘高・東京大学法学部 卒業
灘高43期生同窓会 会長

4歳からギルフォード理論に基づく知能開発を受ける。灘校ではパソコン部・ソフトボール部・新聞委員会をかねもちしながら東大文科一類に現役で合格。

大学在学中から卒業後にかけて東京の大手進学塾・家庭教師センターで講師を務め、「中学受験のエース」と呼ばれる。

平成9年 実家の「太田塾・太田教室」スタッフに。自らの教室を運営するかわら、要請を受けて西宮市の中学受験塾、神戸市中央区の幼児教室、大阪市の家庭教師センターでも講師経験あり。

●資格
【ギルフォード教育研究所】
SIインストラクター・SI教育指導員
知教研式全能力発達診断検査法 検査者
(注 SI=Structure of Intellect=知能構造)

【知能研究所】
知能教育指導者養成講座修了
知研式因子別知能検査 検査者

代表 太田勝久

はよーに 行く 意味

078-842-5913

FAX 078-842-5914

www.lightstaff.com

MAIL info@lightstaff.com

〒657-0027
神戸市灘区永手町3-4-18 六甲道ハイツ1F
(兵庫信用金庫 東隣 JR六甲道2分 阪急六甲7分 阪神新在家9分 灘図書館2分)